

1. More Dimensional、More Palettes：さらに奥行き感・立体感を、さらに彩色のバリエーションを

1-1. More Dimensional：

- ・画用紙の面の左上からの1点投光下での「ハイライトと陰影」ができる「正確な位置」に陰を施す。
- ・陰色の色味は絵画のイメージを左右する。自分が表現したい色味にコントロールして下さい。
- ・コントラストも、自分が表現したい強さにコントロールして下さい。「トーンで伝える植物画のイメージ」
- ・前進色と後退色の組合せが狂わないように色価を的確に調整し、色で奥行き感を感じるようにして下さい。

1-2. More Palettes：

- ・各葉の部分部分の色の変化を観察します：
奥の下葉の色、奥の上部の葉の色、前の下葉の色、前の最正面の葉色、中景の下葉と上葉の色などを。
- ・前後・上下に複数の葉が重なり茂る場合、彩色の前に、後景、中景、前景の基調色を調色して準備する。
- ・葉1枚に注目して観察すると、1枚の中でも色味の変化があることに気づいて下さい。

2. 葉の彩色事例：More Dimensional、More Palettes

2-1. 青白っぽいシュウメイギクの葉



2-2. ホルトノキの葉



2-3. 薄めに彩色したナツツバキの葉



2-4. 紅葉したモミジ

- ・葉ごとの基調色は、トーンの異なる複数の絵具を準備する。
- ・トーンは、彩度と濃淡の組合せで決める。
- ・1枚の葉の中で、さらにトーンを変化させて彩色する。
- ・最後に全体の色調整（色価、上下の色変化）する。



3. More palettes のための調色方法：資料紹介

- 「Green を混色で作る：Viridian との混色で緑色を作る」
- 「ツバキの葉の彩色」
- 「先に陰を彩色する」
- 「ボタニカルアートチャレンジ」